

授業科目名 (英文名)	情報プログラミング (経済学部・専門教育科目) (Introduction to Computer Programming)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2・3・4年次・前期
担当教員	木庭 淳	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>経済データの特性を調べ、今後の状況を予想するためにPCを活用できる能力を養うことは重要である。本授業ではExcelVBAの理解を深め、シミュレーションの技術を学ぶことを目的とする。本授業の到達目標は、ExcelVBAの文法を理解することと、簡単なシミュレーションの技法を理解することである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 ExcelVBAの実習を通して簡単な計算機実験ができるように指導する。週二回の授業を、講義主体 演習主体 ……のようにできるだけ交互に実施する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 方針説明 (レポート、試験) 2. VBA入門 3. セルの操作 4. 変数 (前半) 5. 変数 (後半) 6. それまでのテーマについての演習・課題 7. 繰り返し 1 (Do Until文) 8. 繰り返し 2 (演習・課題) 9. 条件文 1 (Elseがある場合) 所得税の例題等 10. 条件文 2 (select-case文) 11. 条件文 3 (素数判定・列挙・長桁計算) 12. 配列 1 13. 配列 2 (偏差値・サイコロの例題) 14. プログラムの分割 1 (四則演算) 15. プログラムの分割 2 (配列) 16. 関数 17. 1次元ランダムウォーク 18. 2次元ランダムウォーク 19. じゃんけん 20. じゃんけんの判定 21. 誕生日パラドックス 1 22. 誕生日パラドックス 2 23. 消費税 24. 需要と供給 25. リーグ戦とトーナメント 26. 氏族継承問題 27. 氏族継承問題ワークシート編 28. 待ち行列 1 29. 待ち行列 2 30. 累進課税社会 <p>全体の復習と到達度の確認</p>		
テキスト	特になし		
参考文献	授業中に配布する		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準： シミュレーションの基礎を理解し、自分で簡単なプログラミングができる者に単位を授与する。文法の知識の習得、プログラム作成能力の到達度に応じて、SからCまでの成績を与える。</p>		

	成績評価の方法： レポート・確認テスト50%、定期試験50%を基準として、総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	PC教室の収容人数が履修希望者より少ない場合は、履修制限を行う場合がある。
実践的教育	該当しない
備考	